

会 議 録

1 会議名

第 16 回駅名等検討部会

2 議事

駅東口、西口、自由通路名の検討について

- (1) 前回部会の振り返り
- (2) 駅東口、西口、自由通路の名称案の検討
- (3) 駅東口、西口、自由通路の名称提案について

3 開催日時

平成 25 年 11 月 8 日(金) 午後 4 時 00 分～5 時 10 分

4 開催場所

直江津学びの交流館 イベントホール

5 傍聴人の数

マスコミ 6 社、一般 0 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した人（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

委 員： 佐藤芳徳、志村喬、渡部洋一郎、高橋信雄、片岡明、笹原茂、中村真二、三上正子、竹田淳三（9 人）

8 発言の内容

1 . 開会 事務局

定刻になりましたので、ただ今から「第 16 回駅名等検討部会」を開会させていただきますと思います。

本日の会議につきまして、当初 9 月末頃の開催予定としておりましたが、名称の検討にあたり「並行在来線」の駅名が重要になりますことから、「並行在来線」の駅名決定をまち開催させていただきました。

本日の会議ですが、所要時間は 1 時間 30 分を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、本日の委員の皆様の出席状況であります。保坂委員、太田委員、高倉委員、松岡委員におかれましては、所用により欠席とのご連絡をいただいております。また、中村委員につきまし

て、遅れる旨の連絡をいただいております。

2. 報告
事務局

次に次第の2、報告を事務局から行います。

10月31日、えちごトキめき鉄道株式会社から、「上越妙高駅」に移設される並行在来線の駅名が新幹線駅と同一名の「上越妙高駅」に決定したとの発表がありました。えちごトキめき鉄道からは、今後、在来線「上越妙高駅」の駅舎内に「脇野田駅」に関するメモリアルパネルの設置などを検討するとの発表がございました。

参考といたしまして、駅名決定の新聞記事をお手元に配布させていただきます。

以上、事務局から並行在来線の駅名が「上越妙高駅」に決定しましたことを報告します。

3. 議事
事務局

続きまして次第の3議事に入らせていただきます。

始めに佐藤部会長からご挨拶をいただきまして、引き続き議事進行をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

佐藤部会長

皆様こんにちは。この駅名等検討部会も今回で第16回を迎えたという所でございます。委員の皆様には本当に真摯な熱心な議論をいただきまして駅名が決定して、また先程事務局の方からも説明ございましたけれども、在来線の駅名も決定したということで、順調に作業が進んでいるという所でございます。本日は駅の東口、西口、自由通路の名称を検討していただくという形になりまして、今回が最終回になるという予定でございますので、限られた時間でございますけれども、活発なご審議をお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

それでは引き続き、司会進行を務めさせていただきますので、よろしく願い申し上げます。

本日、先程申し上げましたように最終の駅名等検討部会として「駅東口、西口、自由通路名」の部会案をまとめるということをご予定しております。

部会の進め方といたしましては、最初に前回の振り返りというようなことを事務局の方からやっていただいた後に、事前に委員の皆さんからいただいております、「駅東口、西口、自由通路名」の推薦結果。委員の皆さんの意見という形でございますけれども、その名称案の検討を進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

はじめに、前回部会の振り返りについて事務局からご説明いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

事務局

前回部会の振り返りということで、資料1-1、資料1-2をご覧ください

だきたいと思います。

前回の部会では、委員の皆様から事前に名称案の提案をいただきましたので、名称案を基に、資料 1-1「駅東口、西口、自由通路 愛称名検討の基本的考え方」の視点から意見交換を行いました。

意見交換の内容につきましては、資料 1-2『第 15 回駅名等検討部会会議録』をご参照ください。

意見交換では、駅の東西口について特定の観光地を示す名称の場合、初めて訪れる人にとっては駅のすぐ近くにあるものと認識してしまうのではないかなど意見が挙げられました。

部会の最後に、委員の皆様にご各施設名 3 案の推薦を依頼いたしました。本日は推薦結果を中心に検討を進めていただきたいと考えております。

前回部会の振り返りの説明については以上です。

佐藤部会長

ありがとうございました。ただいまの説明、前回部会の振り返りについてご質問等ございませんか。特に事実関係だけですので、問題ないと思います。よろしいでしょうか。

また何かご質問等ございましたら、その都度お申し出いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、駅東口、西口、自由通路の名称案の検討に入ります。

今回の部会では、委員の皆様から名称案の推薦をいただいております。事務局から資料についての説明をお願いします。

事務局

それでは資料 2『駅東口、西口、自由通路名 名称案推薦結果』をご覧ください。

こちらは委員の皆様からいただきました名称案の推薦結果をまとめた資料となっております。

いただいた推薦名称については、駅東口が 16 種類、駅西口が 11 種類、自由通路名が 16 種類となっております。

資料は票数順としており、資料の 2 枚目以降につきましては、推薦理由を明記しております。

委員の皆様から 3 案の推薦とさせていただきますが、3 案の推薦は困難である委員もおられましたことから、推薦数にバラツキがございます。

それでは推薦名称について読み上げます。推薦理由につきましては、資料をご覧ください。

(資料 2 を読み上げ)

資料の説明については以上です。

佐藤部会長

どうもありがとうございました。ただいま推薦の結果、皆様の意見の集計結果を説明していただいた所でございますけれども、この

説明について、ご意見、ご不明な点等ございませんか。

志村委員

勘違いかもしれないんですけども、最後の資料で「謙信公通り」が記載されていないような気がするんですけども。

説明が付いていないものは資料に載せなかったということでしょうか。私こっちを見て確認していたもので。

佐藤部会長

他に何か今のようなお気づきの点等ございますか。

それでは何かお気づきの点がございましたら、その都度出していただくということで駅東口、西口、自由通路名の検討に入ります。

名称の検討方法については、委員の皆様からの推薦結果、これは自由アンケートではなくて、委員の方々から出していただいた意見、これは非常に重たい意見でございますので、それを中心に部会案をまとめる形にしたいと思いますが、そんなような形で進めてよろしいでしょうか。

それでは、資料2『駅東口、西口、自由通路名 推薦結果』の1枚目と、資料2の2枚目からは理由等が書かれておりますけれども、それを基に検討してまいりたいと思います。

只今事務局からご説明いただいた繰り返しになりますけれども、集計結果というのは委員の皆様から出された意見を多いものから並べたということで、自由アンケートと違って、この部会で意思決定するということのような票数等も重い結果だと考えております。ということで東口の方は東口、西口の方は西口、自由通路の方は脇野田通りが一番支持を受けたということで、基本的に上位の名称が委員の方が支持をしているということを中心に進めていきたいと考えております。その方が比較的話がまとまりやすいと思いますので、そんな形で進めていきたいと思いますが、当然自由にご意見賜りたいと思いますので、その辺はある程度柔軟に考えていただいて結構ですけれども、推薦結果の上位の所を軸に検討を進めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

この推薦結果につきまして、何かご意見ございますでしょうか。どのような形でも構いませんので、ご意見を賜りたいと思います。

事務局

先程の資料で「謙信公通り」が入っていないということにつきまして、資料の誤りでございました。

資料2 自由通路名の推薦結果に「謙信公通り」が入ります。推薦理由は「上越における最も発信できる名称」ということでご推薦をいただいております。

もう1点訂正申し訳ございません。自由通路名の推薦結果には、「じょんのび通路」が含まれておりましたが、資料2、1枚目の推薦

結果の一覧には反映されておりませんでした。

「じょんのび通路」は順位が6で票数が1となります。

佐藤部会長

今の訂正よろしいでしょうか。

それではこの推薦結果につきまして、どのような意見でもかまいませんので、お寄せいただきたいと思います。いかがでしょうか。

笹原委員

自由通路は別といたしまして、東口、西口に関してですけれども、当然東西のバランスが必要であることが一つであることですが、あとどこにも方位を表す名称が入っていることで、人気投票ではない、一番だけではないということですが、どれに決まったとしても東口、西口というところは、どのところにも入っている。それは、いずれの形にしても入れたほうがよいのかなという気がいたします。

佐藤部会長

ありがとうございました。

東口、西口という形、キーワードですよ、それはどこにも入っているという、非常に多くのところに入っているので欠かせないのではないかと意見でした。

他に何か意見はございませんでしょうか。

竹田委員

いま笹原委員がおっしゃられたとおり、東口、西口、前からの議論からありますとおり、初めて来られた方が方位がわかる、行き先がわかるということでこれは入れたほうがよいと思います。その中で情報としてお伝えしたいと思いますが、新幹線の駅を降りて例えばレンタカーを使うという場合ですが、誘導する場合、東口はすぐ上越大通りがありますので、おそらく高田公園、右側は妙高、新井方面と何かつくものと思います。まだ確定ではありません。西側山麓線の方には、おそらくですが妙高高原、妙高市・妙高高原方面という案内がつくであろうと思いますし、右側にはおそらく春日山方面という案内がつくのではないかと希望的な観測ですが、含めてあることだと考えております。その時に西口が妙高口ということばかり目にしますけれど、われわれ連携会議の中で、「義のこころ謙信公の地へ いざ出陣」というキャッチフレーズでやっていますけれども、春日山というキャッチフレーズが落っこちてしまったのは、私としてはなかなか疑問に思っているところであります。

結論的に申し上げれば、妙高方面、春日山方面、もしつけるのであればですね。上越、高田公園方面というほうがよいかな。個人的な意見とすれば、東口、西口という口の名前とすればそれにしたほうがよいのかなと考えます。

佐藤部会長 ありがとうございます。個人としての意見も挙げていただいてもかまいませんと考えておりますが、今の意見としては、口の名前は東口、西口として、案内表示は当然つくであろうから、そこで地名とか確認していただく。そういう意見でよろしいでしょうか。
ほかに何か意見はございませんでしょうか。

渡部委員 竹田委員にお伺いするのですが、案内というのはどこの表示をいうのでしょうか。

竹田委員 道路です。

渡部委員 外に出て行つての道路ですか、道路は道路管理者が行うのでしょうか。

竹田委員 道路管理者が行います。当然、市が道路管理者であるところがございますので、市が設置するところもございます。

渡部委員 西口、東口のロータリーから出て行ったところの表示ですね、今おっしゃったのは、東口から出て上越大通りに出るところの交差点に近づくとき、右に行ったり左に行ったりということですね。

佐藤部会長 よろしいでしょうか。他に何か意見はございますでしょうか。

片岡委員 今、竹田委員が言われたとおり、東口、西口というのは一番シンプルで分かりやすいと私も思っております。ただ、出られてから道路に表示がある。それはそれでよろしいのですけれども、やはり駅名が上越妙高駅というところに初めて降りられたお客さんが、どちらが上越で、どちらが妙高であるのか疑問に持たれることと思えます。そうすると西口で妙高方面、春日山方面として、東口については、上越方面、高田方面を補足として、口名の括弧書きとして入れるのか、また口名の下にそういうものが入るのか、出口表示の補足といったものがあつたほうが親切であると思えます。

竹田委員 私の意見としては、方面をつけるとしたら口名とは違うので、口名としたら、あくまで東口、西口ではないかなと、それで上越妙高駅として、西口を妙高口とした場合、西側が妙高なのか、東側からも妙高は行くことはできますし、東口を上越口とした場合、西側からどこに行くのといったときに春日山が謙信で上越ということになります。口名としては方位としたほうが誤解がないかなと思っております。サブの表示として何とか方面というのはありと考えております。

あくまで口名ということで申し上げた次第です。

佐藤部会長

他に何か意見はございますでしょうか。

中村委員

東口、西口というのは明らかに東側、西側にあるので、それはすぐわかりやすいので、僕も括弧なりそのままなり、どっちかに入れたほうがよいと思います。僕は賛成なんですけれども。上越口とか妙高口、あるいは高田口に関しては疑問です。それは地図上から見れば、上越市と妙高市は多少くいこんでいても南北の関係です。それを東西の方面につけるのは、ちょっと、多少とはいわないですけども混乱することはあるかなと思います。そこはいまいぢゃないかなと思っています。それでシンプルに東口、西口としたほうがよいというのが、ここに反映されているんですけども、僕がいつも気にするのは話題性というところなので、会議をして名称を考えました、ドン、東口、西口、えっという感じで非常にちょっともったいないかなと思います。僕が出したのは、雁木エントランスと光のテラスなんですけれども、その建物の駅舎にこういうのができますよ、というのが東口、西口の名称なんですけれども、こういう素敵な名称がついて、こういうすてきな駅ができますよ、光のテラスというところから、桜並木の先に妙高山が見えますよ、と言う感じの話をするれば、それだけで記事がかなりの文章になりますので、そういところは重要だと思うんですね。で、なおかつその後には駅舎を使っていて、待ち合わせ場所に、じゃあ光のテラスに集合ね、東口側に雁木を作るとなっておりますので、東口の雁木エントランスに集合ね、とそういう風に使っていただけるのが一番使いやすいのではないかなと思うんですね。

自由通路については、僕はレルヒ通りと書いたのですけれども、在来線の駅が脇野田というのがなくなって、そこに残したいなと先ほどの説明にもあったので、そこはすごく共感をいたしましたので、僕も脇野田通りを賛成したいと思います。

佐藤部会長

ありがとうございました。

審議では自由通路の名前も意見として出ていたのですけれども、どうでしょうかね、切り離して考えなくてもいいでしょうかね。まあ、自由に意見を出してもらおうとのことでよいと思うのですけれども、そのことを頭の隅にでも置きながらご意見をたまわりたいと思います。東と西を振り返りながらとしてもよいですので、それをこちらで交通整理したいと思いますのでよろしく願いいたします。

何かご意見ございますでしょうか。

三上委員

西口、東口については、私もそれがよいのではないかなと思うの

ですが、それにプラスして補足が東口、西口に必要ではないかと思っております。

自由通路につきましては、在来線の駅名が決まってから推薦依頼の文書をいただきましたので、大変ほっといたしまして、すごく考えやすかったのですけれども、やはり脇野田という名称はすごく大切に残したいと思っておりますので、私も脇野田通りという名称と考えております。以上です。

佐藤部会長

ありがとうございました。他にご意見はございませんでしょうか。

志村委員

今までの話を整理して、まず自由通路については、この表等を見まして考えてみてよいかと考えております。それで東口、西口に関してなんですけれども、今日ここで、どこまでといいますのかね、いわゆる皆さん、この表といまのお話をみて東口、西口という方位名の口は必要だということは一致すると思うのですけれども、そのあと、逆転している場合もありますけれども、例えば東口に何かを付す、括弧付きのものがたくさん出ているのですけれども、括弧何々という付すところまで決めるのかというのか、それとも、その前段までで終わるのか、その辺のところはすこし分からないのですけれども、いかがなものでしょうか。

佐藤部会長

会議の進め方ですので、私のほうからご説明いたしますけれども、基本、今回が最終の会となっておりますので、連携会議に答申する名前を決めたいと思います。これまで複数案ということで進めてまいりましたけれども、ここで多くの意見から一つになれば、一つの意見として答申するのもよいのかなと考えております。それにあわせて何かを付随する、括弧表示で付すという形と、それから先ほどからありますような、付帯条件といいますか、表示を付けてくださいというような付帯条件をつけるというような、それで答申するという形も考えられますので、基本的にはぜひまとめていただきたいということにしております。

渡部委員

自由通路については、圧倒的な票数でこういうふうな形でいくのが自然ではないかと思いますが、その駅の東口、あるいは西口に関しては、東口、西口の名称がつくことについては大体一致するところかなと思いますけれども、たしかに東口、西口というのは、それはそれで1位に挙がっていますけれども、併記される形としては括弧書きがどうかは別にして、併記されるものを見ていくと、これは相当拮抗しているような気がするんです。先ほどコンベンションの事務局長がおっしゃったのですけれども、私は地元の人になれば、

例えばどういう名称がついたとしても、大体の人が方角といいますか、こちらにいけば何々があるというのは分かると思うのですが、やっぱり駅名の口を考えると、視点としては、地元の人がどうというものではなく、特に観光客の人がどうなのかな、そっちのほうがむしろ重要度が高いのかなと思っております。そうすると東口というのは確かにシンプルなんですけれども、それが来る観光客にとってどうなんだろう、口をでて道路にいけば、先ほど部長がおっしゃったような、案内表示がでるにしても、その前段階として口として、東、西だけでよいのか、やっぱり観光客の利便性を考えたときに、西にいったらどういう方面のバスがでたり、東にいったらどういうロータリーがあって、どこに近かったり、そういう発想といいますか、考え方は必要ではないかそういう意味では、先ほどの片岡委員がおっしゃったような意見に個人的には納得がいくような同感できるなということで伺っていたのですけれども。

佐藤部会長

ありがとうございました。

おそらく、今までの意見で東口、西口をいれるというのは異論がないというところですが、説明的な地名がある、説明的な方角を付与するといったところで意見が分かれていると思います。どう分かれているといいますと、東口、西口とその後いろいろな説明をいれたほうが分かりやすいと、なぜかという竹田委員が言われたとおり、東口に出ても妙高に行ける、西口に出ても妙高に行けるとなると、例えば西口（妙高口）とした場合には混乱するのではないかという意見と、渡部委員が言われたような、西口の後に具体的な地名をいれるというほうが外から来た人にとっては分かりやすい、かつその下に細かい表示があったほうがより分かりやすいのではないかと、そういう意見ですね。

いかがでしょうかね、その点何か意見はありますでしょうか。

竹田委員

私も渡部委員のご発言の趣旨はよく分かるのですが、口のサインフォメーションといいますか、口に対する情報というのは、口の名前というのは私は切り離れたほうがよいのではないかと、今お聞きしていたら、サイン計画はこれからやることになりましたが、サイン計画の中にどういう情報を入れなければならないのというのはあらためて思ったのですが、やはり口の名前は口の名前になるもの思っております。その中で非常に象徴的な妙高方面、春日山方面というようなインフォメーションを入れることはありだと思いますが、ここにあるように、西口妙高口、東口上越口というのはあまりにも相対的な切り方ではないかな、かつ混乱するかなと私は思います。ですので、口は口として、東西、東口、西口、その下に少し案内的なものが必要であれば、そういうものが必要である意見を付け加えれ

ばよいのではないかと考えます。

佐藤部会長

先ほど出された意見と同じということで、他に何か意見はございますでしょうか。

渡部委員

大多数の意見として、東口、西口が必要であるというのは分かるのですが、その下につく情報が併記または括弧書きになるのか、その形ではなくて、情報としてサブにつく、そういう考えでよろしいのでしょうか。

佐藤部会長

そのとおりです。

渡部委員

大体多数の方はたぶん、情報が一つ上に挙がるのか、その下の情報の段階で止まるのかということですが、何かの情報を入れたほうが親切であろうということは、ある程度皆さんの意見は一致していると思うのですが。

佐藤部会長

意見として方向性は同じだと思うのですが、第1位と合わせて付ける情報、キーワードと言いますか、括弧として入れるかどうかということでは分かれています。いかがでしょうかね。

志村委員

方位の後に、括弧付きで入れるか、あるいは付すということになるのかということですが、その時に非常に悩ましい話で、私には妙案がある話ではない、あったら便利であろうけれども、逆に混乱を招くケースが予想されるということで、それだけ括弧の中がバラエティに富んでるということに見えているのかなと思っております。個人的に私も悩みまして、例えば西口に3つ出さないというわけで、妙高山口と出したのは私なんです。これは、妙高ではなく、妙高山が見えるというコンセプトで出したのですが、降りたときに視覚情報として入るのであれば間違わないのであろうというようなことでした。あと、今日中村委員が言われていた雁木エントランス、光のテラス、これなんかは今ほどと逆転してしまうのですが、私としてはこれは分かりやすい、口名としてはですね。方面としては付すという形となっているので、口名まで確定するのはかなり難しい話ではないかと考えております。中村委員の意見はあまり考えていなかったのですが、いい発想だな、これから駅を売っていくためには、今日感じました。

佐藤部会長

私も個人的な意見を言いますと、雁木エントランスと光のテラスというのは確定しておりますので、それでいいのかなと思いますけれども、基本的に渡部委員がおっしゃられたとおり、来た人にとっ

てこれは何なんだと言ったときに、それなりの情報をもっていないと、見てもピンとこないのかなと思います。ただ、それを売りに出すという場合は発想が逆転するので、そういう意見もありなのかなと思いますけれども。いかがでしょうかね。

高橋副部長

出入口名というのは、駅名を決めた後に出入口名ということであったのですが、当初から上越妙高駅の位置ですよ、位置がパノラマなんですよ、360度に展開していくというか、そういう場所なので、どんな口をつけてもよいと思うのですけれども、しかしそれでは無責任なので、一生懸命皆さんに考えていただいたわけですよ。前回の時にも申しあげたとおり、地域の人たちはどんな出入口名がついたとしても勝手に言うのかもしれないよ、仮に東口、西口という名称がついたとしても、光のテラスのほうに待っているよ、というようなことで、西口と言わなくとも、光のテラスで待ち合わせているよと言えは分かりますし、そういうふうになっていくと思うんですよ。問題はやっぱり来訪者に対して、どうやっていいネーミングにしたらよいのかなというところで考えると、わかりやすさと、そうですね、ユニークな名前をつけたとしても、混乱が起きたほうが、何なんだこれはとなるのでしょうかけれども、それが十回、二十回来ていただけるのであれば認識はしてもらえるのでしょうかけれども、全国には方位のついた名称が付いているのは現実なので、これはやっぱり無視できないのであろうと考えております。

これからこの名前というのは、市が決めるのですよね。ですからJRがどうのという話ではないので、今いろんな委員の方が発言されたのは表示の方法ですね。これを口で言うのは簡単なんですけれども、この表示チョット見たことがないよね、というのを是非作ってほしいですよ。全国発信するためには非常に分かりやすい、さすが上越だと、上越妙高駅だと、こんな出入口見たことがないよ、非常に分かりやすいねと、先ほども言いましたけれどもこの駅は360度どこにも行けるんですよ、駅の位置はね。だから、そういうことを是非、上越市でできる話なので、そういうことをサインのつけ方と言いますかね、道路のほうはなかなかユニークなものはできないですけれども、駅舎の中にサインを作るわけだから、わかりやすく、上越妙高駅を象徴するような、そして出入口名に、ここをでたらどこに行けるのか分かるのかといったもの、これはやってみる価値はあるのではないかと、是非条件として、今日最後16回目なので、皆さんから大変ご苦労いただいておりますから、単純にね、今日マスコミの方もおりますけれども、決まったら東西だったよ、ということでは、何のためにやっていたのだということではつまんないですからね。ぜひそのことをお願いしたいと

思いますね。そういう想いがみんな入っていると思いますので、是非、そのことを僕としてはお願いしたいと思っています。

佐藤部会長

ありがとうございました。

私が意見を取りまとめる前に、何か他に意見はございませんでしょうか。これだけとはというようなご発言はありませんでしょうか。

今まで出していただいた意見、東口、西口というのは確実であるだろう、口名にするのは妥当であろうと、それは共通理解と考えております。その後例えば括弧付きで付すというところで意見が分かれているというところですけども。それと派生して、口名は東口、西口として、表示と言いますか案内表示のほうを来た人に分かりやすいように入れる。それで案内表示には工夫をいれた形で入れるということでもいいのではなかということ、それと地名を入れるのはよくないのではという意見もございましたけれども、全体的な意見としましては、チョット見てみますと、名前としては東口、西口を口名として、その丁寧に案内するという形で、下のといたしますか、案内表示を工夫して入れると、いろいろな案内があると思うのですけれども、東口から妙高のほうにも行けると、そういうふうな形になるので、そんな形で、東口、西口の名前に案内表示を入れるというのでこの意見は付帯意見、条件として、そういう形で提案すると、答申すると、というような形が多いのかなと思うのですけれども、何かこれにつきまして、これは違うだろ、というようなご意見はありますでしょうか。

よろしいでしょうかね。

では東口、西口についてはそういう形で答申させていただくことにして、自由通路については今までの意見で2, 3人の委員からいただいたところによると、推薦結果も断トツと言いますかね、脇野田通りというのが支持を受けているとのことになりますけれども、これについて何かご意見はございますでしょうか。

竹田委員

私は決して反対ではないのですけれども、地域に対して考えられているなどありがたいのですけれども、個人的な意見では、謙信をどこか駅に使いたいなという感じです。二者択一のため、どちらかをとったらどちらかがなくなってしまうのですけれども、決して脇野田というのは反対ではないのですが、いい意見かなと思いますけれども、どこか謙信の生まれた場所ですよ、何かで出したいなと、決して通りで出させていただく必要はないのかもしれませんが、というような少し考えられませんか、今出させていただきたいと思います。

佐藤部会長

今のご意見に対して、何か意見はございませんでしょうか。

片岡委員

謙信を何かにつけたいという意見は私も同感なんですけれども、ただ施設は自由通路だけではなくて、例えば東口にドームがありますよね、あるいはテラスもある。そうすると、ドームを例えば謙信ドームとか、他につける、いわゆる上越妙高駅の象徴的な施設につける、そういったところに付けられるネーミングが探せばあるのかもしれませんが。自由通路については、私は脇野田通りというのは入れたのですけれども、気持ちとしては脇野田釜蓋遺跡通りとしたかったですけれども、それだとあまりにも長すぎるので、脇野田通りと釜蓋遺跡通りと分けたのですけれども、自由通路については、やはりここに脇野田駅がありましたよと、ということをお知らせする。あるいは釜蓋遺跡という貴重な遺跡があるんですよということをお知らせする。そういう思いであります。

笹原委員

脇野田通りが一番多いというのはそうなんですけれども、チョット感じたのは名前云々ではないのですけれども、通りというのはチョット短い、通りというよりは広場に近いような感じを受けたんですよ場所自体が、ですから通りは通りなんですけれども、広場のほうがよいのではないかと感じたものですから、実際現場に行くと東西の距離が短いといいますか、南北も広いのですから、どうも通路というと直江津駅の通路を考えるのですが、全然ああ言ったものではないと感じたものですから、通りでもいいんでしょうけれども、うん、といった感じがしたものですから。

佐藤部会長

ありがとうございました。皆さん通りという認識を持っているものですので、何とか通りという形でまとめていただければと思いますが、どうでしょうか。

高橋副部会長

ようするに市が道路として整備するから、市道なのでそういうところから話が進んでいるのですけれども、ほんとは通りでなければ違うことを考えられたかもしれませんが、謙信の話は、竹田委員が言いますけれども、すごく残念なんだけれども、これはやっぱり春日山を光らせなければなりませんよね、駅で何か仕掛けをして、春日山に来させようとするのは姑息であるので、春日山を活性化しなければなりませんよね。

志村委員

私も少し昨日見に行ったのですけれども、これは私も通路名ということできておりますので、通路か通りというところで考えてしまっているのですが、脇野田という名前はいいと考えております。私は出口で使いたかったのですけれども、広場という感覚も分からな

いでもないなと思います。海外にも通りであったら、実は広場というところも多くありますので、そのほうが実は人が多くいてにぎわうといったような感覚をうけるのではないかと、それで、通り以外の名称を考えなかったというところですけども、ついでに言いますと、謙信の話について言いますと、ここは謙信公に会いに行くための出発ステーションとして、ですから聞いて思ったのが、謙信出陣情報ステーションとか、そんなようなニュアンスで、こっから謙信ツアーが始まるんだというコーナーだとか一角の話ではないかと思いました。

通路、通りなんですよね。

竹田委員

委員ではなく、事務局として、昨日見ていただいたのは新幹線の通路のみだと思います。大体 40mくらいだと思います。東に交流のエントランスと、並行在来線の上にもう 20mくらい通路が伸びます。その向こうに光のテラスがありますので、そうとう広い通路なんですけれども、直江津駅の通路より若干短いくらいの通路。広さは相当広いので広場といってもいいのですけれども、我々は市道としておりますことから、ここを広場といってしまうと困ってしまう部分がございます。

笹原委員

こだわる訳ではなくて、現場を実際見ると、通路というよりは広場だよなという感じを受けた、それだけの話です。

竹田委員

長さはもっと長くなります。天井が今張っていないのですけれども、天井もあと 1mくらい張っていくことになります。

佐藤部会長

よろしいでしょうか。

他に何か意見はございますでしょうか。時間が短くなってきたところですので、私の意見を若干申しあげさせていただきますと、脇野田という名前がもしついたとしたら、それはその通路に残るわけですよ。今ほどの意見で出た、謙信とか釜蓋とか、これは十分単体の単語として、例えば謙信の里とか、釜蓋遺跡どうのこうのとかが、言い切れる名称だと思うのですけれども、ですから駅に来た時ですけれども観光客を呼ぶときに、それをもっと脇野田通りより大きな字で書いてお客さんと呼べるもので、今回は票数も多いですし、脇野田通りということで答申したいと考えておりますけれども、皆さんいかがでしょうか。

ということで、東口、西口、自由通路の名称については、部会として意見がまとまったとのことでございます。この提案について、最終的に上越市に提案する形になるのですけれども、具体的な提案の流れにつきまして、事務局のほうから説明をお願いします。

事務局

それでは資料3をご覧いただきたいと思います。本日の議論を受けまして、その流れでございますけれども、資料についてそのスタートについて、本日第16回の部会でございます。施設名等の部会案の決定を本日受けましたので、これを受けまして、私ども事務局のほうで、提案書の案を作成させていただきたいと思います。こちらの案をそれぞれ各委員におくばりさせていただきまして、内容をご確認していただき、案を正式な案として修正させていただきまして、連携会議の会長宛てに部会のほうから報告するという形をとらせていただきたいと思います。報告につきましては駅名等検討部会、佐藤部会長からご報告いただきと考えております。その後、連携会議の会長、それから部会長とともに上越市のほうにご提案をいただき、上越市長がその案をいただくという形を、提案までの流れとさせていただきますいただきたいと考えております。

今後の提案の流れについては以上です。

佐藤部会長

ありがとうございました。

ただいまの名称提案フロー、資料3の説明をしていただきましたけれども、この点につきまして、何かご不明な点、ご質問はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは提案書につきましては、委員の皆様の意見をまとめて事務局が案を作成する形をとらせていただき、案ができましたら委員に見ていただく手順でございますけれども、そのような形によろしいでしょうか。

本日の議事は終了となりますが、せっかくですのでこれまでの経緯を含めて何かご意見など、何かございますでしょうか。

何もありませんので、進行を事務局にお返しします

4. その他
事務局

大変ありがとうございました。事務局から、お知らせいたします。

本日議論いただきました施設等名の提案書について、案ができ次第、皆様へお送りしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

駅名等検討部会について、当部会の目的としておりました「新幹線駅の名称」と「駅周辺の公共施設の名称」の検討が終わりましたので、本日の部会を持って終了いたします。

委員の皆様におかれましては、平成23年5月の部会発足後、ご尽力いただき誠に感謝いたします。ありがとうございました。

竹田事務局長

事務局から一言お礼を申し上げさせていただきます。私も委員として、2年半ご一緒させていただきまして本当にありがたく思いま

す。おかげさまで上越妙高駅という名前を付けていただきました。この部会の中で相当深い議論をいただいた中での結果だと思っております。実は駅名のところでいろいろなところが揉めているのが事実としてございます。七戸十和田が有名なところですが、実は北海道のところでもいろいろな議論があるところでございます。それでうちのほうにも視察に来ていただいております。どういう議論で決定したのということを知りたいと思っておりますけれども、この部会のお話をいたしますと非常に高い評価を受けております。そんなにすごい議論をしているんだな、そういうふうに行っていると一つにまとまらないとしても、市民の意見がいろいろなところで出てくる、そういう高い評価を受けております。これは部会長、副部会長、委員の皆様のおかげだと思います。おかげまして、上越妙高という名前は相当売れました。これは事実として一つあります。市民の皆様がこの2年半の議論により、新幹線がほんとにくるんだと、これはマスコミの皆様の報道もありますけれども、ほんとに浸透いたしました。これも皆様のおかげだと思っております。

私、委員の立場を超えてご挨拶させていただきましたが、2年半ほんとにありがとうございました。もう少しございますけれどもお見限りがないようお願いいたします。またいろいろな場面でお力をいただきたいと思います。

本当にありがとうございました。

5 . 閉会
事務局

以上をもちまして、「第16回駅名等検討部会」を終了いたします。

以上